

## 令和5年度 県立図書館の取組

「兵庫県立図書館中期運営方針」（令和5年度～9年度）に示された13の取組について、令和5年度は次のとおり取り組む。

### （１） 資料の充実

- 専門書・学術書、ふるさとひょうご関連資料に主軸を置いて、図書・資料の充実を図る。
- リクエストにも適切に対応し、利用者ニーズを踏まえた資料収集に努める。
- 阪神・淡路大震災関連資料など、ふるさとひょうごの情報拠点としての役割を踏まえた資料の充実を図る。
- 収集した資料の書誌データを国立国会図書館総合目録ネットワーク（ゆにかねっと）に提供する。 **拡**

〔指標〕	令和5年度（計画数）	令和4年度（1月末）
蔵書冊数	666,000	660,147
蔵書検索（HP）数	1,540,000	1,247,651
来館者数	127,000	105,868
貸出数	56,000	42,693

### （２） デジタル化の推進

#### ① ひょうご図書館情報ネットワーク（HALネット）の機能の充実

「ひょうご図書館情報ネットワーク（HAL ネット）」を更新（令和6年1月）し、電子化の推進に努める。 **拡**

【新たに追加する機能】 **新**

- ・電子書籍の閲覧
- ・インターネットでの利用者登録申込み
- ・スマートフォン版利用者カードの発行
- ・デジタル・アーカイブの機能拡充（検索機能等）
- ・国立国会図書館総合目録ネットワーク（ゆにかねっと）へのデータ提供の自動化

#### ② ふるさとひょうご関連データベースの充実

利用者の調査活動や職員による質の高いレファレンスに活用するため、「ふるさとひょうご関連データベース」の充実と検索機能の拡充など利便性の向上を図る。

- ・コンテンツ数の充実 **拡**
- ・デジタル・アーカイブの機能拡充（検索機能の充実、画像の拡大・縮小 等） **拡**

#### ③ 計画的なデジタル化

郷土資料のデジタル化に計画的に取り組む。

- ・昭和初期までに発行された歴史・地誌・伝記資料 約100冊 **拡**

#### ④ 電子化された資料の利活用の促進

「ひょうご図書館情報ネットワーク（HAL ネット）」の更新に合わせ、電子化された資料等が検索・利用しやすい環境整備を進め、またさまざまな拠点から資料にアクセスできるよう、多様な情報アクセス拠点との連動を図り、さらに民間が運営する

オンラインデータベースの利活用の促進に努める。

- ・コンテンツ数の充実 **拡**
- ・デジタル・アーカイブの機能拡充(検索機能の充実、画像の拡大・縮小 等) **拡**
- ・国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)との連携 **新**
- ・当館で利用できるオンラインデータベースの利活用方法の案内 **拡**

### ⑤ 電子書籍の導入 **新**

広大な県土を有する兵庫県で県民誰もが利用できるよう、電子書籍を導入する。

- ・初期予定冊数 5,440冊
- ・電子書籍の利用促進(広報、説明会の開催 等)

[指標]	令和5年度(計画数)	令和4年度(1月末)
ふるさとひょうご関連データベース登録数	42,300	41,830
電子書籍タイトル数	5,540	—

### (3) レファレンスの充実

- 利用者の多様なニーズや自主的な調査・研究を支援するため、国立国会図書館の協働データベースやこれまで蓄積してきた資料情報やノウハウを活用し、利用者の満足度向上を目指す。
- レファレンスサービスの広報に努める。 **拡**
- 外部講師等による研修会を実施する。

[指標]	令和5年度(計画数)	令和4年度(1月末)
参考業務受付件数	9,000	5,146

### (4) 知的好奇心をくすぐる機会の提供

#### ① 展示の充実

時事問題や県の施策に合わせた展示等、趣向を凝らした展示の企画に努めるとともに、地域や社会の課題に沿ったテーマ設定や参加体験型の展示に取り組む。

##### 【主な展示】

- ・企画展示「ひょうごを旅する～五感で感じる食・文化・伝統～」  
実施時期：令和5年6月～10月  
兵庫デスティネーションキャンペーン(県産業労働部観光局主催)と連携

#### ② 魅力ある講座の実施

社会のニーズに合ったテーマや講師選定、兵庫県ゆかりの研究者の活用等、受講者増加につながる広報を充実するとともに、県内大学等の教授を派遣し、県民の調査研究を支援する。

##### 【主な講座】

- ・「古代の山陽道、播磨の駅家(うまや)を探る」  
講師：県立考古博物館学芸員
- ・「食と健康～加工食品の表示について～」  
講師：兵庫県立大学教授(予定)

### ③ 非来館型の参加しやすい学習機会の提供

リアル配信に加え、録画配信を拡充する等オンライン参加型講座の充実を図る。  
出前講座等のさらなる実施を通じ、非来館型サービスを楽しむ機会を提供する。

#### 【主な講座】

- ・「連続歴史講座（全5回）」  
講師：前園田学園女子大学准教授 藤井雅英 氏
- ・「連続城講座丹波編（全3回）」  
講師：京都府乙訓郡大山崎町歴史資料館長 福島克彦 氏 他

### ④ 児童・生徒向けイベントや講座等の充実

児童・生徒対象の研究指導の実施や体験学習と読書をつなぐイベントの充実を図る。

#### 【主なイベント】

- ・「しょくぶつ探検」  
講師：県立人と自然の博物館研究員 小舘誓治 氏  
対象：小学生とその家族

### ⑤ 「子ども子育て資料室」「課題解決コーナー」の活用

「子ども子育て資料室」について、児童書に加え、大人を対象とした子育て関連図書の配架を周知し、親子以外の人たちも含め多くの人々の利活用促進に努める。

利用者のニーズに応じ多面的な資料提供を行うとともに、グループ討議等での利活用促進のため「課題解決コーナー」の有効活用を図る。

- ・「親子読書室」から「子ども子育て資料室」に名称変更 新

〔指標〕	令和5年度（計画数）	令和4年度（1月末）
展示・講座の参加者数	900	703
オンライン講座の受講者数	330	91

## （5）人と情報の交流拠点機能の充実

### ① 交流スペースの運用

利用者同士の交流や本の交換等の場として談話室の活用を促進するとともに、県域情報等を容易に収集できる場となるよう運用する。

#### 【主な活用】

- ・ボランティアの自主的な企画の実施 新

館内のあらゆるスペースを積極的に活用し、交流促進を図る。

#### 【主な活用】

- ・ボランティアグループ「兵庫ビデオサークル」による上映会の実施  
実施日：偶数月の第3日曜日
- ・高校の美術部の作品のロビー展示

## ② 交流機会の提供

県立明石公園で開催されるイベントの活気を呼び込むよう、イベントへの出展やPR活動の展開を図る。

〔指標〕	令和5年度（計画数）	令和4年度（1月末）
談話室利用者数	21,000	17,567
交流スペース利用企画数	5	2

## （6） だれもが利用しやすい環境の推進

### ① バリアフリーの推進

誰にとっても利用しやすい図書館となるよう、アクセス方法やわかりやすい表示など、環境整備を推進する。

### ② 視覚障害者等へのサービスの向上

点字ディスプレイや対面朗読の活用などにより読書機会の拡大を図る。 拡

国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービス等を活用し、視覚障害者等用資料のDAISYデータや点字データ等の利用環境の充実に努める。 拡

- ・兵庫県点字図書館と連携した読書支援サービスの充実 新

兵庫県点字図書館が所有する視覚障害のある人が利用しやすい多数のオーディオブック等について当館ホームページで紹介

### ③ 資料にアクセスしやすい環境整備

「ひょうご図書館情報ネットワーク（HAL ネット）」の利便性向上を図り、託送システムをはじめとした市町立図書館との連携の強化、電子書籍の導入等により、県内どこからでも資料にアクセスしやすい環境整備を推進する。 拡

### ④ マイナンバーカードとの連携推進

兵庫県担当課と連携し、当館利用者カードとマイナンバーカードとの連携推進に努める。

〔指標〕	令和5年度（計画数）	令和4年度（1月末）
インターネット貸出予約利用者数	8,000	5,809

## （7） アウトリーチ事業の拡充

### ① 学校サポートプロジェクトの充実 拡

学校等への広報を徹底し、利用校数の増加を図る。

学校サポート講座のテーマ設定や実施方法など、各校のニーズに柔軟に対応する。

学校セット貸出について、的確な選書を行う。

- ・児童・生徒や教諭を対象にした電子書籍利用促進のための実践講座の実施 新

② 行政の政策形成・政策研究への支援

県職員グループ等が政策研究等に活用できるよう適切に選書した書籍のセット貸出を行う。

③ 社会教育施設、行政機関、団体等との連携強化

館外巡回イベントとして、社会教育施設や市町立図書館等の特別展と連携した図書の貸出やパネル展示等を実施する。

社会教育施設や団体等と連携した資料や施設の利活用の促進を図る。

【主な連携】

- ・商工会議所等が主催する「起業セミナー」に当館関連資料を貸出(予定)

④ 出前講座の充実・強化

生涯学習関係団体等へのPRを図るとともに、講座内容の充実を図る。

【主な講座】

- ・兵庫県いなみの学園 「県立図書館の上手な使い方」

[指標]	令和5年度(計画数)	令和4年度(1月末)
学校サポート講座		
回数	5	2
参加者数	300	129
学校セット貸出		
件数	17	14
冊数	2,600	2,166
出前講座・館外イベント等		
施回数	10	5
参加者数	500	269

(8) 資料貸借の協力体制の強化

① ひょうご図書館情報ネットワーク(HALネット)の中核機能の充実

令和6年1月に更新する新システムにおいて、県内すべての公立図書館が大きな1つの図書館として活用できるよう、その基幹となるHALネットの機能を充実する。 拡

② 市町間相互貸借システムの充実

市町立図書館へ積極的、効率的に協力貸出を行い、相互貸借を円滑に進めるとともに、新たな貸出・返却方法の導入にも柔軟に対応する。

[指標]	令和5年度(計画数)	令和4年度(1月末)
市町立図書館リクエスト		
リクエスト件数	350	272
リクエスト応諾率	69%	67%
協力貸出		
利用館数	1,500	1,457
利用冊数	14,000	11,797

## (9) 関連機関との連携の強化

### ① 近隣施設・関連施設等との連携

明石市立文化博物館等の特別展と連携した展示に取り組む。

#### 【主な連携】

- ・「明石市立文化博物館×兵庫県立図書館 画家・絵本作家 安野光雅」の開催
- ・「県立歴史博物館×兵庫県立図書館 古貨幣の魅力」の開催

### ② 県行政の主要事業等との連携

兵庫県が展開する主要事業等に関連した展示や講座を担当部局と連携して実施し、県政に対する県民の関心を高める。

#### 【主な連携】

- ・企画展示「ひょうごを旅する～五感で感じる食・文化・伝統～」(再掲)  
実施時期：令和5年6月～10月  
兵庫デスティネーションキャンペーン(県産業労働部観光局主催)と連携

### ③ 国立国会図書館、都道府県立図書館等との連携

多くの人の利用に供するため、国立国会図書館総合目録ネットワーク(ゆにかねつと)、東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)等へ積極的に当館所蔵データを提供する。拡  
レファレンス充実のため、国会図書館が集約するレファレンス協同データベースを積極的に活用する。

図書館運営に関する新たな課題に対処するため都道府県立図書館等と連携し、情報共有に努める。

〔指標〕	令和5年度(計画数)	令和4年度(1月末)
関連施設や県行政との連携		
連携展示数	15	13
連携先数	10	8
参加者数	1,000	-

## (10) 県民・利用者参加型の図書館運営

### ① ボランティア活動の拡大

ボランティアの方が有する資格や経験等を生かし活動できる範囲を拡大する。拡

#### 【主な活動】

- ・カウンター業務 新
- ・交流スペース(談話室)の企画運営 新
- ・書架の整理業務
- ・資料寄贈に係る事務補助業務 他

## ②企業等との連携

企業等の専門性を生かした事業や社会貢献活動と積極的に連携する。

〔指標〕	令和5年度（計画数）	令和4年度（1月末）
ボランティア登録者数	30	26

## (11) 図書館職員の資質向上

### ① 研修への積極的参加

職員の専門性を高めるため、積極的に外部研修等に参加し、レファレンス能力等の向上を図る。

### ② 市町立図書館職員の資質向上支援

市町図書館の意見を踏まえつつ、新たな課題に対応する研修を実施するとともに、市町へのレファレンス事例の提供に努める。

当館が事務局を務める兵庫県図書館協会主催研修でニーズの高いテーマを選んで実施する等研修会の質を高める。

関係機関等で実施される研修会情報を市町立図書館に積極的に提供する。

成果に関するアンケート調査を実施し、今後の研修内容の充実を図る。 新

〔指標〕	令和5年度（計画数）	令和4年度（1月末）
市町立図書館職員研修受講生アンケートにおける成果の割合(%)	80	—

## (12) 情報発信力の強化

### ① 魅力あるコンテンツづくり

展示等の年間計画をホームページ等に掲載するとともに、新着図書案内や講座開催のお知らせ等の新着情報をホームページでタイムリーに広報する。

Twitterでの職員をつぶやき等、当館に親しみを持っていただけるよう情報提供に努める。

### ② 多様な広報ツールの活用

兵庫県立図書館だより「くすの木」等の広報資料を様々な機会を活用し、広く配布するとともに、ホームページやSNSを使った積極的な広報に努める。

学校で使用されている既存システム（兵庫県教育情報ネットワーク）を活用し、学校セット貸出等の案内を送信する等情報提供先の拡大を図る。

報道機関に企画展示や講座等の開催案内に加え、幅広い話題を積極的に提供する。

・様々な媒体を使って電子書籍サービスを積極的に広報 新

〔指標〕	令和5年度（計画数）	令和4年度（1月末）
ホームページアクセス数	170,000	123,116
新聞・ケーブルテレビ等への掲載件数	50	40

### **(13) 運営方針の効果的推進**

#### **① 運営方針の進行管理**

毎年度、事業計画を策定し、事業等の推進を図る。

前年度の事業の進捗状況の評価結果を図書館協議会に報告する。

- ・次年度事業計画の策定 3月頃
- ・前年度事業の進捗状況の評価 8月頃

#### **② 評価の見える化**

毎年度、自己評価を行い、結果を公表する。

- ・評価指標に基づく前年度事業の評価結果をホームページ等で公表 8月頃